

# 事後評価書

事業名	桑名員弁線街路事業	事業区分	街路事業	室名	都市政策室										
事業概要	工期 (下段当初)	昭和60年～平成12年	全体事業費 (下段当初)	13,850百万円 (負担率: 国1/2: 県1/3: 市1/6)											
		昭和60年～平成11年		13,540百万円 (負担率: 国1/2: 県1/3: 市1/6)											
事業目的及び内容		<p>桑名員弁線は、桑名市東方の国道1号を起点とし、いなべ市に至る延長12kmの都市計画道路であり昭和54年に都市計画決定されています。</p> <p>当事業は、このうち国道1号から国道258号までの延長1,860mを4車線のバイパス道路として整備したものです。</p> <p>■ 事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道1号、国道258号と当路線により、桑名駅を中心とする既成市街地の外郭環状線が構築され、市街地内の幹線道路ネットワークが形成されます。</li> <li>・ 桑名市西部の大規模住宅団地やいなべ市と桑名市既成市街地のアクセスが強化され、地域間の交流促進が図られます。</li> <li>・ 大規模な宅地開発や沿道の開発に大きく寄与します。</li> <li>・ 事業区間内にある近鉄名古屋線、JR関西本線、近鉄養老線とそれぞれ立体交差することにより都市内交通の円滑化を図ります。</li> </ul>													
<b>1. 事業の効果</b>															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用対効果を分析した結果              便益 (B) = 435.69億円              費用 (C) = 204.80億円              B/C = 2.1 となっています。</li> <li>・ 沿道には大山田団地や西桑名ネオポリス団地などの住宅団地が、また近隣には桑名ビジネスリサーチパークが整備されており、地域の社会経済の発展に大きく寄与しています。</li> <li>・ 大山田団地から桑名駅までの所要時間が、整備前18分から整備後12分と6分短縮されるなど時間短縮効果があり、地域間の交流促進が図られています。</li> </ul>															
<b>2. 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化</b>															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開削してできた切土法面には、厚層基材を吹き付け緑の復元をしています。</li> <li>・ 市街地のトンネル部では、その上部を緑地として利用しています。</li> <li>・ リサイクルの取組としては、道路舗装の路盤材、アスファルトに再生材を利用しています。</li> </ul>															
<b>3. 事業を巡る社会経済情勢等の変化</b>															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中京都市圏の中心都市である名古屋市から25km圏域という地理的優位性、公共交通によるアクセスの良さを生かして西部丘陵地の住宅開発が展開され、中京圏南部の優れた住宅都市として発展してきました。</li> </ul> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">大山田団地</td> <td style="padding-left: 20px;">( 世帯数 6,232戸 、 人口 18,256人 、 昭和 51年分譲)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">星見ヶ丘団地</td> <td style="padding-left: 20px;">( 世帯数 1,823戸 、 人口 5,621人 、 平成 7年分譲)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">新西方団地</td> <td style="padding-left: 20px;">( 世帯数 932戸 、 人口 2,481人 、 平成 6年分譲)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">陽だまりの丘団地</td> <td style="padding-left: 20px;">( 世帯数 639戸 、 人口 2,008人 、 平成 12年分譲)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">西桑名ネオポリス団地</td> <td style="padding-left: 20px;">( 世帯数 4,482戸 、 人口 13,868人 、 昭和 52年分譲)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なお、桑名市、多度町、長島町の1市2町は、平成16年12月に合併し新しい桑名市となりました。</li> </ul>						大山田団地	( 世帯数 6,232戸 、 人口 18,256人 、 昭和 51年分譲)	星見ヶ丘団地	( 世帯数 1,823戸 、 人口 5,621人 、 平成 7年分譲)	新西方団地	( 世帯数 932戸 、 人口 2,481人 、 平成 6年分譲)	陽だまりの丘団地	( 世帯数 639戸 、 人口 2,008人 、 平成 12年分譲)	西桑名ネオポリス団地	( 世帯数 4,482戸 、 人口 13,868人 、 昭和 52年分譲)
大山田団地	( 世帯数 6,232戸 、 人口 18,256人 、 昭和 51年分譲)														
星見ヶ丘団地	( 世帯数 1,823戸 、 人口 5,621人 、 平成 7年分譲)														
新西方団地	( 世帯数 932戸 、 人口 2,481人 、 平成 6年分譲)														
陽だまりの丘団地	( 世帯数 639戸 、 人口 2,008人 、 平成 12年分譲)														
西桑名ネオポリス団地	( 世帯数 4,482戸 、 人口 13,868人 、 昭和 52年分譲)														

#### 4. 県民の意見

##### ■ 県民の意見の徴集方法

沿道住民、道路利用者を対象にアンケート調査を実施しました。

##### ① 沿道住民

アンケートを郵送

調査数： 5,000

有効回答数： 2,217 (回収率：44%)

##### ② 道路利用者

桑名市の本庁舎、多度町総合支所、長島町総合支所、市民センター（7箇所）

いなべ市の員弁・北勢・大安・藤原庁舎、東員町本庁舎にアンケートボックスを設置

有効回答数： 194

##### ■ 県民の意見の内容

・「非常に満足」「やや満足」を合わせて82%が満足しています。

満足に感じている点として延べ4,061人から回答があり、主な点は以下のとおりです。

目的地までの時間が短縮できる。 : 1,497人 (37%)

交通渋滞がなくスムーズに走行できる。 : 1,037人 (26%)

日常生活が便利になった。 : 939人 (23%)

・一方、「非常に不満」「やや不満」を合わせて7%が不満を持っています。

不満に感じている点として延べ1,315人から回答があり、主な点は以下のとおりです。

交通渋滞がありスムーズに走行できない。 : 591人 (45%)

交通事故が多く、危険を感じたことがある。 : 245人 (19%)

案内標識が少ないので目的地がわかりにくい : 201人 (15%)

・交通渋滞については、国道1号との交差点について特に桑名駅方面への右折が渋滞するといった意見が多くありました。

#### 5. 今後の課題等

##### ■ 県民の意見からの課題と対応方針

アンケートにあった国道1号との交差点付近の渋滞については、国道1号への右折車両が多数あり、右折専用レーンが無いために滞留していることが原因と考えられます。

当面の対策としては、車線標示の変更により右折専用レーンの確保を実施する予定です。

また、長期的には国道1号の4車線化（桑名東部拡幅）に併せた交差点計画の見直しにより渋滞が緩和されるものと考えています。

##### ■ 今後の事業に反映すべき課題と対応方針

街路事業は都市内において実施する道路の改築事業であり、市民生活や経済活動等に伴う交通の円滑化を図るのみでなく、沿道の市街地化を誘導する等の機能を併せ持つなど都市の基盤として「まちづくり」に大きく寄与する重要な役割を担っています。

このため、今後とも引き続き、これら多岐にわたる事業効果等を考慮しつつ、事業箇所の重要性、緊急性を勘案しながら、「新道路整備戦略」に沿って、計画的な整備を推進していきたいと考えています。